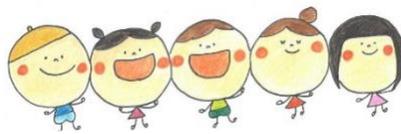




# むぎのほ



# かいかんだより

子ども家庭支援センター 麦の穂

中津川市千旦林 1468-7 地域交流ホーム 麦の穂会館内  
TEL 0573 (68) 6858 FAX 0573 (64) 8139

2021年11月  
第259号

鮮やかな紅葉の季節となりました。子どもフェスティバルは中止とさせていただきましたが、楽しみにしていた子どもたちへは、施設内でお楽しみ会を考えています。来月号で様子をお伝えできたらと考えています♪  
地域の皆さんと一緒に楽しいひとときが過ごせることを心待ちにしています。

♪麦の穂会館のご紹介♪



コロナ禍、密を避けるために麦の穂会館のお部屋をフル活用しています。今までそれほど使わなかったところも利用頻度が高くなったことで、環境面を見直すきっかけとなりました。お越しいただいた皆さんに快適に過ごしていただけるよう準備を進めています。

2階和室



事務所



花だん



今は毎月実施の「麦の穂子育てサロン」の受付、身体計測の会場になっています。柔らかな肌触りのじゅうたんと落ち着いた色合いのカーテンに変えました。

事務所扉をリニューアル！あたたかな雰囲気になりました。

コイさんも元気です！





小学校一年生になった時、クラスで話が聞けない、じっと座れない、  
ふらふらするなど落ち着かない行動の原因と対処について

小学一年生になって教室で席にじっと座らないでふらふらする・友達にちょっかい・先生の話を受けないなど自分勝手な行動が**問題**になり一年生になる子どもを持つ親の心配となっている場合があります。このような行動の**原因**として子ども自身の能力、そして育った家庭環境、幼稚園・保育園、こども園での教育環境、そして小学校の担任の教育力、さらには校長先生を中心に学校全体が困った行動する子の教育の方針や援助を地域や保護者に丁寧に優しく繰り返し説明をして**信頼関係**を作っていないことです。

**対処**として、小学校の担任は、幼児教育は学校教育と違って到達目標のように一学期はここまで上手に字を書かせ、算数で数を正しく完全に身につけるという教育を受けていないことを理解して子どもを指導することです。幼稚園やこども園は卒園までに字が書けるようになっていればいい、歌も楽しく歌えること、給食も全部残さずきれいに食べさせることではないという教育を一年生の担任も再認識してこどもと母親に触れ合っただけで欲しいものです。

**親**は我が子の能力を言葉の理解、発語、友だちとのかかわり、ルールを理解、我慢する力、挑戦する力等**事実**を把握して**期待過剰な心**を先生に伝えないことです。小学一年生のクラスで落ち着くこと・話がきけるため大切なことは、先生や友達から失敗してもいいよ、間違ってもいいよ、一つできればいいよと受け入れられ、認められ、愛されているからクラスの中で先生や友達の話し・聞く態度が育つという考えです。上手に字を書くこと、正しく読むこと、きちんと座って食事をする 것도大切ですが、クラスの中でふらふらしないで座っているという態度を作ることです。そのためには、一人ひとりいいところがあることを見つけて言い合う時と場を作り、認め合う温かい愛の雰囲気づくりをクラスの中で作ることです。クラスの中ではできるだけ悪いところを言わないという約束をクラスと学校全体が作ることです。いいところが言えるには一つ目、相手をよく見ること、二つ目、相手を受け入れる生き方をしていなければほめることはできません。家庭も学校も四月・五月は周囲の大人が、子どもの能力を信じおおらかに見守ってほしいものです。

こどもは**環境との相互作用で発達する**という言葉をお母さんも先生も地域も理解して温かい愛のある雰囲気のある環境をつくるために実践することが重要になります。就学相談の時に、この子は乱暴・できない・話せない・ルールを守れないといった**レッテル**を張らないことが**第一**です。そのような時もありますよといった配慮をすること、家族や周囲の全員が決めつけるのでなくいいところがひとつはあるということを**信じて触れ合う**ことが、一年生の問題を見る目が全員変わりレッテルを張らないクラスに結びつき温かい雰囲気結び付きます。

